



健康診断はがん検診も一緒に

昨年健康診断を受けられなかった方々へ



昨年はコロナ感染症での受診控えなどの影響により、健康診断も受けられなかったという方が多くいらっしゃいました。健診の間隔が空くほど、リスクは高まります。特に昨年受けられなかった方は、早急に受けるようにしましょう。早期から末期がんに至るには約2～3年とされています。早期がんのうちに見つけることが大切です。



がん検診を受けてこそ早期治療が可能です！

健康診断はがん検診も必ず受けましょう。もし、基本の血液検査や胸部レントゲン検査とは一緒に受けられず、別の医療機関で受けた場合も補助の対象になります。以下対象年齢です。

- 胃がん : 40歳以上の方
- 大腸がん : 40歳以上の方
- 乳がん・子宮頸がん : 20歳以上の方
- 肺がん : 基本検査に含まれています



アスベスト・じん肺対策を行っています

指定医療機関で健診を受けた場合は、自動的に胸部のレントゲンが建設国保に届き、職業性呼吸器疾患の専門医による読影を行っており、受診が必要な方には連絡を行っています。

指定医療機関

建設国保



健診時のレントゲンをチェックしています

ご存知でしたか？

指定健診医療機関で受けられなかった方も、「呼吸苦などの症状がある」「アスベストなどの粉じん現場にいた」などご心配がある方は胸部レントゲンをお送り頂ければ、読影を行っていますので、ぜひご相談下さい。



健康診断の申込みは所属の組合または指定医療機関まで

健康診断指定医療機関はこちら→

神奈川県建設連合国民健康保険組合 保健課 電話:045-453-9661

